九州地方プリント No.8

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

名前

出席番号　　必要な人は書く

問1　九州地方の南側から東側の沿岸部に沿って北東方向へと流れる強い海流について、この海流は低緯度から北上する「暖流」としての性質を持ち、別名「日本海流」とも呼ばれます。この海流の名称として正しいものを選びなさい。

○ リマン海流　○ 対馬海流　○ 黒潮　○ 親潮

問2　鹿児島県の農業産出額の構成を他の都道府県と比較したとき、米や野菜の割合が小さく、ある部門が全体の半分以上という極めて高い割合を占めているという特徴があります。この背景と、その部門に該当する内容の組み合わせとして最も適切なものはどれか。

○ 広大な平野と冷涼な気候を活かし、大規模な機械化による小麦やてんさいの栽培が盛んになった。
○ 冬でも温暖な気候を活かして、ビニールハウスを用いたピーマンやなすの促成栽培が盛んになった。
○ 夏の降水量が少ない気候を利用し、オリーブやレモンなどの果樹栽培が盛んになった。
○ シラス台地が広がり稲作に適さない土地が多かったため、肉用牛や豚などの畜産が盛んになった。

問3　九州地方には多くの火山が分布していますが、その地下にあるマグマの熱を利用して電気を起こす発電方式を何といいますか。二酸化炭素の排出が少なく、持続可能なエネルギー源の一つとして注目されている名称を答えなさい。

○ 風力発電　○ 水力発電　○ 地熱発電　○ 太陽光発電

問4　九州地方南部の鹿児島県などに広く分布する、過去の巨大火山による噴火で発生した火砕流などの堆積物が積み重なって形成された台地を何といいますか。

○ 扇状地　○ カルデラ　○ シラス台地　○ 三角州

問5　地形図において大規模なくぼ地として示される地形で、火山の噴火活動によって形成された円形や馬蹄（ばてい）形の地形を何といいますか。

○ 扇状地　○ カルデラ　○ 盆地　○ 火口

問6　九州地方の農業統計において、肉用牛の飼育数が約32万頭と突出して多く、温暖な気候を活かした畜産業と、ビニールハウスなどを活用した野菜栽培を組み合わせた農業が行われている県はどこか。

○ 大分県　○ 福岡県　○ 宮崎県　○ 鹿児島県

問7　熊本県の農業統計において、農業産出額が1,247億円に達する「野菜」と、1,147億円に達する「畜産」が大きな割合を占めている特色について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。

○ 果実と花きの生産に特化した構造となっており、野菜や畜産の産出額は全国平均を下回っている。
○ 米、野菜、畜産、果実などがバランスよく生産されており、特に野菜と畜産の産出額が非常に高い水準にある。
○ 近郊農業の特性を活かして野菜の生産のみに集中しており、畜産や米の生産はほとんど行われていない。
○ 広大な平野を利用した稲作に特化しており、農業産出額の大部分を米が占めている。

問8　鹿児島県などの地形図に見られる、標高の低い谷状の土地の利用について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。

○ 傾斜が急で水の確保が難しいため、主に森林として利用される。
○ 平坦で広大な面積を確保しやすいため、大規模な工業団地が造成される。
○ 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。
○ 土壌の通気性を確保するため、水田ではなく果樹園として利用される。

問9　九州地方南部に位置する宮崎県の農業的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。農産物産出額の内訳や気候条件に着目して答えなさい。

○ 冷涼な気候を利用した「抑制栽培」が盛んで、夏から秋にかけてキャベツやレタスを都市部へ出荷している。
○ 瀬戸内の温暖な気候を活かし、ブドウやモモなどの「果樹」の産出額が全国でもトップクラスである。
○ 広大な平野を活用した稲作が中心であり、農産物産出額の大部分を「米」が占めている。
○ 温暖な気候を活かした畜産業が非常に盛んであり、県の農産物産出額のうち「畜産」が占める割合が約半分に達している。

問10　九州地方北部に位置し、多くの半島や島々からなる複雑な海岸線を持ち、雲仙岳などの火山が分布する地域で行われている農業の特色として、最も適切なものはどれですか。

○ 冬の多い積雪と豊富な地下水を活用した、大規模な水田単作経営
○ 「やませ」の影響による冷害を克服するために発達した、稲作と野菜の輪作
○ 海岸沿いに広がる広大な砂丘を利用した、スプリンクラーによる果樹栽培
○ 年間を通した温暖な気候を利用した、ばれいしょ（じゃがいも）の二毛作

九州地方プリント No.8

赤い ○ が 正しい 答え。
まちがえた 問は もう一度 とこう。

こたえ

問1 九州地方の南側から東側の沿岸部に沿って北東方向へと流れる強い海流について、この海流は低緯度から北上する「暖流」としての性質を持ち、別名「日本海流」とも呼ばれます。この海流の名称として正しいものを選びなさい。

- ○ リマン海流
- ○ 対馬海流
- ● 黒潮
- ○ 親潮

問2 鹿児島県の農業産出額の構成を他の都道府県と比較したとき、米や野菜の割合が小さく、ある部門が全体の半分以上という極めて高い割合を占めているという特徴があります。この背景と、その部門に該当する内容の組み合わせとして最も適切なものはどれか。

- ○ 広大な平野と冷涼な気候を活かし、大規模な機械化による小麦やてんさいの栽培が盛んになった。
- ○ 冬でも温暖な気候を活かして、ビニールハウスを用いたピーマンやなすの促成栽培が盛んになった。
- ○ 夏の降水量が少ない気候を利用し、オリーブやレモンなどの果樹栽培が盛んになった。
- ● シラス台地が広がり稲作に適さない土地が多かったため、肉用牛や豚などの畜産が盛んになった。

問3 九州地方には多くの火山が分布していますが、その地下にあるマグマの熱を利用して電気を起こす発電方式を何といいますか。二酸化炭素の排出が少なく、持続可能なエネルギー源の一つとして注目されている名称を答えなさい。

- ○ 風力発電
- ○ 水力発電
- ● 地熱発電
- ○ 太陽光発電

問4 九州地方南部の鹿児島県などに広く分布する、過去の巨大火山による噴火で発生した火砕流などの堆積物が積み重なって形成された台地を何といいますか。

- ○ 扇状地
- ○ カルデラ
- ● シラス台地
- ○ 三角州

問5 地形図において大規模なくぼ地として示される地形で、火山の噴火活動によって形成された円形や馬蹄（ばてい）形の地形を何といいますか。

- ○ 扇状地
- ● カルデラ
- ○ 盆地
- ○ 火口

問6 九州地方の農業統計において、肉用牛の飼育数が約32万頭と突出して多く、温暖な気候を活かした畜産業と、ビニールハウスなどを活用した野菜栽培を組み合わせた農業が行われている県はどこか。

- ○ 大分県
- ○ 福岡県
- ● 宮崎県
- ○ 鹿児島県

問7 熊本県の農業統計において、農業産出額が1,247億円に達する「野菜」と、1,147億円に達する「畜産」が大きな割合を占めている特色について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。

- ○ 果実と花きの生産に特化した構造となっており、野菜や畜産の産出額は全国平均を下回っている。
- ● 米、野菜、畜産、果実などがバランスよく生産されており、特に野菜と畜産の産出額が非常に高い水準にある。
- ○ 近郊農業の特性を活かして野菜の生産のみに集中しており、畜産や米の生産はほとんど行われていない。
- ○ 広大な平野を利用した稲作に特化しており、農業産出額の大部分を米が占めている。

問8 鹿児島県などの地形図に見られる、標高の低い谷状の土地の利用について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。

- ○ 傾斜が急で水の確保が難しいため、主に森林として利用される。
- ○ 平坦で広大な面積を確保しやすいため、大規模な工業団地が造成される。
- ● 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。
- ○ 土壌の通気性を確保するため、水田ではなく果樹園として利用される。

問9 九州地方南部に位置する宮崎県の農業的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。農産物産出額の内訳や気候条件に着目して答えなさい。

- ○ 冷涼な気候を利用した「抑制栽培」が盛んで、夏から秋にかけてキャベツやレタスを都市部へ出荷している。
- ○ 瀬戸内の温暖な気候を活かし、ブドウやモモなどの「果樹」の産出額が全国でもトップクラスである。
- ○ 広大な平野を活用した稲作が中心であり、農産物産出額の大部分を「米」が占めている。
- ● 温暖な気候を活かした畜産業が非常に盛んであり、県の農産物産出額のうち「畜産」が占める割合が約半分に達している。

問10 九州地方北部に位置し、多くの半島や島々からなる複雑な海岸線を持ち、雲仙岳などの火山が分布する地域で行われている農業の特色として、最も適切なものはどれですか。

- ○ 冬の多い積雪と豊富な地下水を活用した、大規模な水田単作経営
- ○ 「やませ」の影響による冷害を克服するために発達した、稲作と野菜の輪作
- ○ 海岸沿いに広がる広大な砂丘を利用した、スプリンクラーによる果樹栽培
- ● 年間を通した温暖な気候を利用した、ばれいしょ（じゃがいも）の二毛作